## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number :

07-307607

(43) Date of publication of application: 21.11.1995

(51)Int.CI.

H01Q 1/24

H01Q 1/40 H04B 7/26

(21)Application number: 06-121765

(71)Applicant: FUJITA JUNZO

(22)Date of filing:

10.05.1994

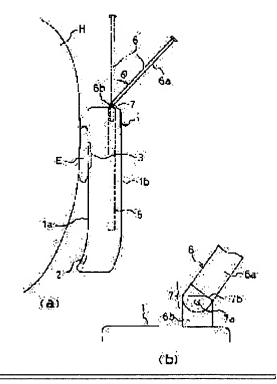
(72)Inventor: FUJITA JUNZO

#### (54) ANTENNA FOR PORTABLE TELEPHONE SET

### (57)Abstract:

PURPOSE: To reduce radio wave faults due to a heat part by separating an antenna from the head part of a human.

CONSTITUTION: By forming a bent part 7 between the element part 6a and the supporting part 6b of this antenna 6, the antenna 6 is inclined for a prescribed angle  $\theta$  towards the side of the back surface 1b of a case body 1 at the time of using the antenna. The antenna of this constitution can be separated from the head part H of the human at the time of use and thus, the radio wave faults due to the head part H are reduced and stable communication is made possible.



### **LEGAL STATUS**

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]
[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

(**4**)

(19)日本国特許庁(JP)

# (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開發号

# 特開平7-307607

(43)公開日 平成7年(1995)11月21日

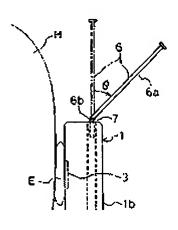
(51) Int.CL <sup>6</sup> H 0 1 Q 1/24		織別紀号 庁内整理番号 A		P I			技術表示體所		
norw	1/40	A							
H04B	7/26			H 0 4 B	7/ 26		Ų		
				審查請求	<b>京韶</b> 紫	請求項の数1	FD	(全 3	頁)
(21)出顯番号		特顯平6-121765		(71)出願人	(71) 出廢人 592035850				
(22)出版日		平成6年(1994)5月10日			藤田 第 東京都	吨造 大田区下丸子 2 -	-14 9	3 - 304	
, , , , , , , , , , , , , , , , , , ,		,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	• • • • •	(72)発明者	藤田 菊	他造			
				(74)代與人		大田区下丸子 2 - 近島 一夫	-14-3	3 - 304	
				(727)	J				

### (54)【発明の名称】 機帯電話機のアンテナ

### (57)【要約】

【目的】 アンテナを入間の頭部から離すことにより、 その頭部による電波障害を低減させる。

【構成】 アンテナ6のエレメント部分6aと支持部分6bとの間に新曲け部7を形成するととにより、アンテナ使用時に、アンテナ6を筐体1の背面!b側へ向けて所定角度 θ だけ傾斜させるようにする。この構成のアンテナによれば、使用時に人間の頭部日から離すことができ、よってその頭部日による電波障害を低減させて、安定した通話を可能とする。



(2)

特闘平7-307607

1

### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 筐体の正面に送受話器が設けられたハン ディタイプの携帯電話機に装備され、上記筐体から上方 へ突出した状態で使用される送受信用のアンテナにおい Ψ.

使用時に、上記管体の背面側へ向けて傾斜する手段を値 えたことを特徴とする携帯電話機のアンテナ。

### 【発明の詳細な説明】

[0001]

【産業上の利用分野】本発明は、ハンディタイプの携帯。 電話機に装備され、その電話機の筐体から上方へ突出し た状態で使用される送受信用のアンテナの構成に関す る。

[0002]

【従来の技術】図3は、ハンディタイプの携帯電話機に 装備された従来のアンテナの構成例を示す携帯電話機の 側面概略図である。

【0003】図のように、ハンディタイプの携帯電話機 では、縦長の筐体1の正面1aに送話器2と受話器3と が設けられており、その筐体上の上端に送受信用のロッ 下型のアンテナ50が取り付けられている。この従来例 におけるアンテナ50は、アンテナ使用時、つまり電話 機使用時には図3のように筐体1から上方へ真っ直ぐに 伸ばされ、また非使用時には筐体!内のアンテナ収納孔 5 に収納されるように構成されている。

[0004]

【発明が解決しようとする課題】しかし、上述のように 筐体1から上方へ真っ直ぐに伸ばされた状態で使用され る従来のアンテナ50では、図3のように携帯電話機の 状態となる。このため、アンテナ50で送受信される電 波が、導電体である人間の頭部目により障害を受け、通 話に支障をきたすことがある。

【①①05】本発明は、とのような従来の問題を解決す るためになされたもので、アンテナを人間の題部から離 すことにより、その頭部による電波障害を低減させるこ とを目的とするものである。

[0006]

【課題を解決するための手段】上記目的を達成するため に 本発明に係る携帯電話機のアンテナ(6)では、使 40 のではない。

[0009]

【実施例】以下、図面に基づいて本発明の実施例を説明 する。

【0010】図1は、ハンディタイプの携帯電話機に装 値された本発明に係るアンテナの構成を示す図で、図1 (a)は携帯電話機の側面概略図、図】(b)はアンテ ナの部分拡大図である。なお図1中、図3に示した従来 例と相違ない構成要素については、同一の符号を付して 10 説明を省略する。

【()()11】 図のように、このアンテナ6の特徴は、使 用時に、筐体1の背面1b側へ向けて傾斜する手段を値 えた点にあり、本実施例ではその傾斜手段として、アン テナ収納孔5から引き出されるエレメント部分6aと、 収納孔5内に大半が残る支持部分6 b との間に、折曲げ 部?が形成されている。

【0012】この折曲げ部では、エレメント部分6aと 支持部6 b とを軸7 a で連結するとともに、支持部6 b に切欠きストッパ?りを形成することにより、アンテナ 6を筐体1の背面1り側へ向けて所定角度θだけ傾斜さ せ得るようにしたものである。またこの折曲け部でを設 けたアンテナ6は、エレメント部分6aを支持部6りに 対して真っ直ぐに立てるととにより、そのエレメント部 分6aと共にアンテナ収納孔5内に収納することができ る。

【①①13】上記模成のアンテナ6では、使用時に、エ レメント部分6 a を折曲げ部7 と共にアンテナ収納孔5 から完全に引き出し、筐体1の背面1b側へ向けて所定 角度 & だけ傾斜させる。これにより、アンテナ6は入間 受話器3を耳目に当てた人間の頭部Hに非常に接近した 30 の頭部目から離れ、その頭部目による電波障害が低減さ れることになる。

> 【①①14】上記額斜手段の他の例として、図2の側面 概略図に示すように、アンテナ6を可撓性材料により作 製するとともに、アンテナ収納孔5を湾曲させた状態に 形成することにより、その可饒性のアンテナ6を引き出 した際に、筐体1の背面1b側へ向けて所定角度 8だけ 傾斜させるように構成することも可能である。この場合 にも、先の折曲げ部7の場合と同様の効果が得られる。

[0015]

【発明の効果】以上説明したように、本発明に係る携帯

(3)

特闘平7-307607

す側面機略図である。

【図3】ハンディタイプの携帯電話機に装備された従来 のアンテナの構成例を示す携帯電話機の側面機略図であ る。

【符号の説明】

筐体 1

正面 \* 1 a

> 背面 1 b

2 送話器

3 受話器 6 アンテナ

折曲け部 (傾斜手段)

[図1]



